

自己決定プログラム個人予算の必須報告ツール

地域センターは、参加者の前年度の承認サービスよりも20,000ドル以上増加された個人予算に関する以下の情報を、指令で指定されている数だけ提供する必要があります。地域センターは、以下の質問に回答することに加えて、認定個別予算、認証または検証済み支出計画を地域センターポータル経由で当局に提出するものとします。

1. 参加者の一意のクライアント識別番号（UCI番号）を提供してください。
2. 参加者の最新の認定個人予算額を提供してください。
3. これは個人にとって初めてのSDP予算ですか？
 - ☐ はい（質問4に進む）
 - ☐ いいえ（質問5に進む）
4. これが初めての個人予算の場合、個人は従来型のサービス提供システムでは利用できないサービスを必要としていましたか？
 - ☐ はい（質問5に進む）
 - ☐ いいえ（質問6に進む）
5. 従来型のサービス提供システムにおいて、当該サービスの受給の障壁となった要因は次のうちどれですか？（該当するものをすべて選択して、質問6に進んでください）
 - ☐ 地理的位置
 - ☐ サービス提供している地域センターベンダーが限られていること
 - ☐ 個人のニーズに対応できる地域センターベンダーが限られていること
 - ☐ ベンダーの使用可能状況
 - ☐ 言語能力
 - ☐ その他（具体的に説明してください）： _____
6. 予算調整の要因となった状況、ニーズ、リソースの変化はありましたか？該当するものをすべて選択してください。
 - ☐ 状況の変化
 - a. 該当する状況の変化は次のうちどれですか？
 - ☐ 学区から出たこと
 - ☐ 居住形態の変化
 - ☐ 雇用の変化

☐ 健康状態の変化

☐ その他（具体的に説明してください）： _____

☐ ニーズの変化

b. 該当するニーズの変化は次のうちどれですか？

☐ 健康ニーズの変化

☐ 身体的サポートに関するニーズの変化

☐ 雇用状況の変化

☐ 専門サービスの査定

☐ その他（具体的に説明してください）： _____

☐ リソースの変化

c. 該当するリソースの変化は次のうちどれですか？

☐ 一般的なサービスの受給開始または喪失一般的なサービスを具体的に説明してください： _____

☐ 保険の使用可能状況の変化

☐ ナチュラルサポート（家族、友人、知人といった身近な人々による自然な形の支援）体制の変化

☐ 特定のニーズに対応できる利用可能なリソースが地域内に存在しないこと

☐ その他（具体的に説明してください）： _____

☐ 従来型のレートの変更

☐ 上記以外のその他の理由（具体的に説明してください）：

7. 参加者の個人予算以外で資金提供されるサービスはありますか（例：行動療法サービスの自己負担額）？FMS月額料金は含めないでください。1つ選択してください。

☐ はい（質問8に進む）

☐ いいえ（終了）

8. 参加者の個人予算以外で資金提供されるサービスを一覧してください。

この報告ツールに関する質問は以上です。ありがとうございました。